

熱
痛
痛



発熱・のどの痛み 溶レン菌感染症にご注意

平成 29 年 10 月 11 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成 29 年第 40 週分・10 月 2 日～10 月 8 日)

《 インフォメーション 》

● A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (溶レン菌感染症)

今週、溶レン菌感染症の報告数が定点医療機関あたり 1.10 人となり、先週 (1.00) より増加しました。例年に比べ報告数は多くありませんが、この感染症は冬～春にかけて報告数が増加するので、今後注意が必要です (右上図)。

溶レン菌感染症は、A 群溶血性レンサ球菌が原因となる疾患です。主にのどに感染して咽頭炎や扁桃炎などを引き起こします。潜伏期は 2～4 日です。主な症状は、発熱 (38～39℃) やのどの痛みです。体や手足に小さくて赤い発疹が出たり、舌に赤いブツブツがでたりします (イチゴ舌)。また、小児では悪心、嘔吐および腹痛を伴うこともあります。抗生物質の投与により治療できるため、治療経過は一般的に良好ですが、症状が消失しても投薬期間 (約 10 日間) はしっかりと薬を飲み続ける必要があります。

患者は、4～5 歳をピークとして 6 歳以下が全体の約 7 割を占めています (右下図)。小さなお子さんのいる家庭や保育所・幼稚園では、二次感染に注意してください。溶レン菌感染症は人のせきやくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれる細菌によって感染します (飛沫感染)。また、排出された細菌が手などを介し、口に入ることによって感染します (経口感染)。

手洗いやうがいは感染を予防するために効果的です。

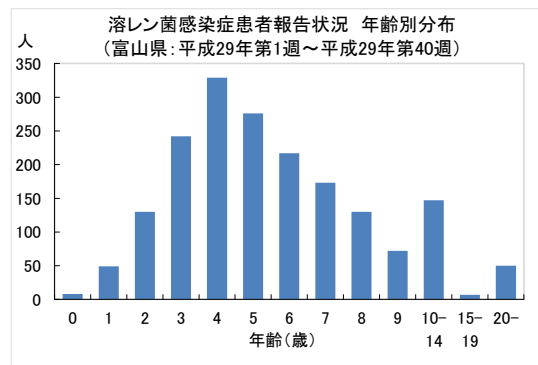
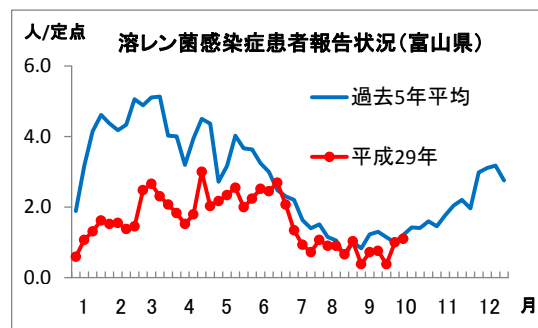
《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 3 件 (①第 39 週診断分: 20 歳代、女性 ②30 歳代、男性 ③80 歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (第 39 週診断分: 30 歳代、男性、O157,VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 1 件 (80 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (60 歳代、女性)
- 梅毒 1 件 (第 36 週診断分: 50 歳代、男性、早期顕症梅毒 I 期)
- 麻しん 1 件 (20 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	4.41	3.90	↑
2 位	手足口病	1.38	0.86	↑
3 位	R S ウイルス感染症	1.34	1.86	↓
4 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.10	1.00	↑
5 位	咽頭結膜熱	0.62	0.34	↑
6 位	ヘルパンギーナ	0.34	0.48	↓



この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第40週 平成29年10月2日～平成29年10月8日）

分類	疾患	今週報告分（第40週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核			2			2	12	4	40	10	70	136	
三類感染症	細菌性赤痢									1		2	3	
	腸管出血性大腸菌感染症							1	2	13	2	11	29	
四類感染症	A型肝炎							2				1	3	
	デング熱											3	3	
	レジオネラ症	1					1	5		9	2	15	31	
五類感染症	アメーバ赤痢							1				3	4	
	ウイルス性肝炎							1					1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2			4	2	8	
	急性脳炎											2	2	
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		5	7	
	後天性免疫不全症候群									1		5	6	
	ジアルジア症							2		1			3	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	2	4	
	侵襲性肺炎球菌感染症			1			1	5		5	2	17	29	
	水痘（入院例）											1	1	
	梅毒							1		4		6	11	
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	麻しん					1	1					1	1	
	定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ							1,886	1,366	2,455	1,554	3,418	10,679
RSウイルス感染症		5	3	19	4	8	39	63	73	250	182	700	1,268	
咽頭結膜熱		1	5	4		8	18	90	36	219	64	183	592	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.25	1.67	0.50		0.80	0.62							
感染性胃腸炎		3	2	13	1	13	32	132	57	728	234	679	1,830	
水痘		0.75	0.67	1.63	0.25	1.30	1.10	1,360	837	1,286	556	2,969	7,008	
手足口病		34	8	22	3	61	128	8.50	2.67	2.75	0.75	6.10	4.41	
伝染性紅斑				1			1			0.13			0.03	
突発性発しん		1	3	16	1	19	40	0.25	1.00	2.00	0.25	1.90	1.38	
百日咳								1	1	5	1	18	26	
ヘルパンギーナ				4	4	2	10							
流行性耳下腺炎				0.50	1.00	0.20	0.34							
急性出血性結膜炎				2		2	4	158	68	416	78	361	1,081	
流行性角結膜炎				0.25		0.20	0.14							
細菌性髄膜炎						1	1				3	2	1	6
無菌性髄膜炎						0.50	0.14							
マイコプラズマ肺炎				1		1	1		3	223	23	8	257	
クラミジア肺炎				0.50			0.14							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1				1	2	
インフルエンザによる入院患者（*）						1	1						3	4
						1	1		9	3	16	11	19	58
						1.00	0.20		1	1		1	3	6
									10		15	21	12	58
												2	2	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。